

世界脳週間京都講演会

ようこそ

脳科学の最先端へ

世界脳週間

2024

脳を知る。
創る。守る。育む。

主催 特定非営利活動法人 脳の世紀推進会議

共催 国立研究開発法人 理化学研究所 脳神経科学研究センター／(公財)ブレインサイエンス振興財団

協力 日本神経科学学会／日本神経化学会／日本神経回路学会

World Brain Awareness Week

2024年7月20日 土

14:30~16:00

開催趣旨

主催者 特定非営利活動法人 脳の世紀推進会議
理事長 水澤 英洋

「世界脳週間」とは、脳科学の科学としての意義と社会にとっての重要性を一般の方々に啓発することを目的として、世界的な規模で行われるキャンペーンです。

アメリカでは神経科学学会が中心となり、1992年から毎年3月に「脳週間」を設け、公開講演・討論、病院や研究所の公開、学校訪問などの公開行事を企画し実施しています。それに呼応して、1997年からヨーロッパにおいても「脳週間」が実施されています。この両者が連携して1999年には同時期に「脳週間」を開催、さらに2000年からは、国際脳研究機構やユネスコの後援を受け、アジア、南米・アフリカの各国にも呼びかけ、「世界脳週間」と銘打って世界的な規模に拡大しました。

わが国もこの「世界脳週間」の意義に賛同し、本法人が主体となり、高校生を主な対象として2000年より参画しています。

わが国においては、高校生が参画しやすいように、各地の高等学校の既存行事と重ならないよう、主に3月中旬から夏休みにかけて企画されています。また、これらの行事には、高校の先生方も出席くださるようお願いしております。

皆さまの積極的なご参加を期待しております。

京都神経科学グループ 世話人代表 河田 光博

「コロナ」は私たちの生活様式を大きく変えました。AIもそうです。私たちの周りの世界は私たちを変え、逆に私たちも周りの世界を変えていきます。からだの中で、脳は1,300gぐらいの小さな臓器の一つですが、宇宙の果てを考え、コロナ対策を考え、紫式部の生きた世界も考えると不思議な臓器です。

ものを探求することは、脳を自由に使い、新たな発見の喜びを知ることにはほかなりません。

世界中の高校生は、私たちと同じように脳について考え、知識を深めようとしています。世界の潮流に遅れることなく、視野を広く持って学びの精神を高めていきましょう。

この講演会を通して、「脳が脳について考える」、そんな時間を皆で共有し、新たな自分を見つけることができます。脳科学はさまざまな分野と共通項を持っている、新しい学問です。

【脳の世紀推進会議 事務局】

〒168-0074 東京都杉並区上高井戸2-2-7 株式会社コナ・オフィス 内
TEL: 080-9281-6902
E-mail: brain.konaoffice@gmail.com

会場 東山高等学校 (京都市左京区永観堂町 51)

対象 高校生 (対面形式における講演、質疑応答)

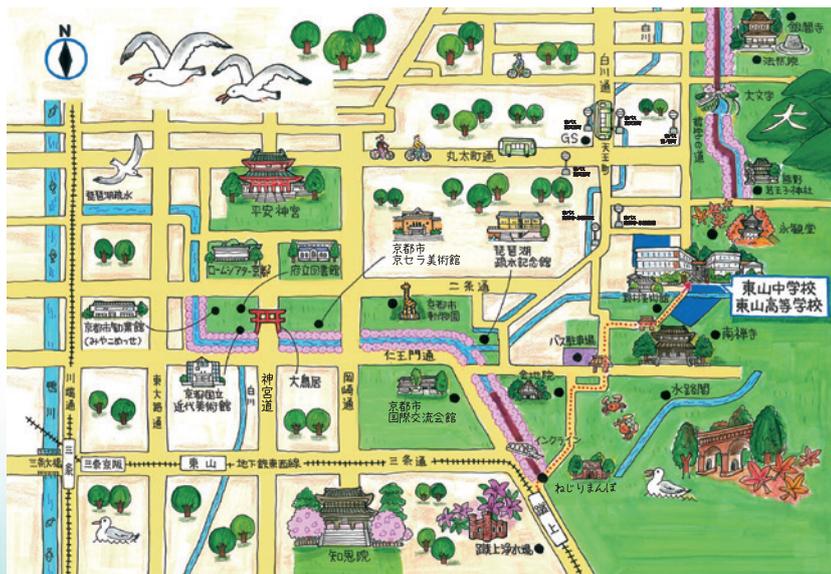
主催 京都神経科学グループ

代表 河田 光博 (京都岡本記念病院 教育センター 京都府立医科大学名誉教授)

講演

味わいのサイエンスとその医学的展開

樽野 陽幸 教授 (京都府立医科大学 大学院医学研究科 細胞生理学)



【交通機関】
・京都市バス「南禅寺・永観堂道」下車 東へ徒歩5分
・京都市バス「東天王町」下車 東南へ徒歩6分
・地下鉄東西線「蹴上」下車1番出口 北へ徒歩約10分

【お問合わせ先】
澤田 寛成 (東山高校) hr_sawada@higashiyama.ed.jp
玉井 克樹 (東山高校) k_tamai@higashiyama.ed.jp
河田 光博 (京都岡本記念病院) m-kawata@okamoto-hp.or.jp

<http://www.braincentury.org/>